

地域における女性の参画推進事業【長野県】

個別事業費	1,205 千円
交付金額	557 千円

地域の実情と課題

【実情】
 令和6年度調査では、社会全体が男女平等であると感じている県民の割合は、男性7.3%、女性2.1%に留まり、性別によって役割を固定する考え方に反対する割合は、男性61.7%に対して、女性69.5%と女性が約8ポイント上回る結果となっている。

【課題】
 根強く残る固定的性別役割分担意識に基づく社会慣行等が影響していると考えられ、その意識を解消するための取組が必要である。

事業の特徴

【圏域を越えた取組】
 ・地域で活躍する女性等の意見交換会
 ⇒地域の現状について学ぶセミナーと、悩みや課題等の意見交換会を実施。参加者が内容を地域等へ還元することで、女性の参画を後押しし、参加しやすい環境づくりを促進

【県民を対象とした啓発】
 ・県男女共同参画センターオンライン講座等実施事業
 ⇒・拠点施設として県民ニーズを的確に捉え、様々な世代の県民に浸透するように時宜にかなった啓発・発信
 ・啓発講座は、時間と場所に捉われずに受講できるようオンラインで実施

事業の効果

・地域で活躍する女性等の意見交換会
 ⇒セミナー参加を必須として、意見交換を行う構成とした結果、参加者の理解と満足度が高まった。地域活動等を行う女性等の率直な意見、生の声を多数聞くことができた。

・県男女共同参画センターオンライン講座等実施事業
 ⇒オンライン化により広い県域から気軽に参加できる体制で実施し、講師との質疑応答も活発に行われた。講師と直接の交流を希望するニーズに応じた対面講座の開催、講座内容を後日配信する等、多様なニーズに応えた。

目的・目標

【目的】
 圏域を越えた地域で活躍する女性等の意見交換会や、当センター実施の啓発講座により、県民の固定的性別役割分担意識を解消し、地域活動等における意思決定の場に女性の意見が反映される社会の実現に向けた取組を推進する。

【実績(目標)】
 ・意見交換会、啓発講座のアンケートにおいて「理解が深まった」「気づきがあった」と回答した者の割合85.6%(目標90%)
 ⇒啓発講座の参加者538名中、アンケートに395名が回答。目標には達しなかったものの、概ね理解が深まったという回答(なお、意見交換会はセミナー、意見交換ともに90%以上の満足度)
 ・社会全体が男女平等だと感じる人の割合4.2%(目標50%)
 ⇒本県として大きな目標を設定したが、本事業のみでは大きな改善には及ばず未達成、引き続き事業効果を高め、取組を推進

連携団体

- 長野県立大学(当意見交換会を共催)
- 県内市町村(講座を共催、パブリックビューイング会場の設置)
- 長野県女性活躍推進会議(経済団体、教育機関、国、県等の17団体で構成)及び構成団体傘下の企業・団体

今後の課題

・地域で活躍する女性等の意見交換会
 ⇒より多くの方に参加してもらい様々な視点からの意見をもらうには、広域からの参加を可能とするために、オンライン併催等の検討、開催日時の工夫が必要

・県男女共同参画センターオンライン講座等実施事業
 ⇒参加者の年齢層、性別の偏りや固定化の傾向が見られる。若者や男性等のこれまで関心の薄い層にも訴求できるテーマ設定やSNSを活用した周知、より参加しやすい開催方法等が必要

事業の概要

地域における女性の参画推進事業

固定的性別役割分担意識を解消し、地域活動等における意思決定の場に女性の意見が反映される社会の実現のため、圏域を越えた取組及び県民全体への啓発として次の事業を実施。

地域で活躍する女性等の意見交換会

- 日時：令和7年10月27日（月）13:30～17:00
 会場：長野県立大学 三輪キャンパス ラーニングホール
 対象：
 ◇地域活動（自治会、消防団、PTA等）に参加されている、又は参加意欲のある女性
 ◇女性の地域活動への参加を後押ししたい方（性別不問）
 ◇「私のアクション！未来のNAGANO創造県民会議」参加者
 ◇探求学習等を通じて地域に関わっている、又は地域に関わる意欲のある若者

内容：

①セミナー（60分）

講師：小安 美和 氏（株式会社Will Lab代表取締役）
 テーマ：地域における女性の“生きやすさ”“働きやすさ”

②意見交換会（120分）

- ・少人数グループでメンバーを入替え意見交換、発表
- ・テーマ：
 - ・地域の中で、女性の参加、あるいはリーダーシップの発揮を妨げているものは何か
 - ・地域活動に女性が参加するにはどうしたらよいか
 - ・そのために自分ができそうなこと

③参加者アンケートの実施

アンケートの集計結果は、本県ウェブサイトで公表

長野県男女共同参画センターオンライン講座等実施事業

○講座テーマ、講師等

- 「地域でジェンダー平等を実現していくには」浜田 敬子氏（ジャーナリスト）
 「ジェンダー格差」牧野 百恵氏（アジア経済研究所 主任研究員）
 「人生100年時代の男女共同参画」山田 昌弘氏（中央大学 教授）
 「モラルハラスメントの事例と対策」堀井 亜生氏（弁護士）

○市町村共催講座テーマ、講師等

- 「日本のジェンダー状況に山積する課題」
 本田 由紀氏（東京大学大学院教授）【松本市共催】
 「災害時のトイレは命にかかわる」
 加藤 篤氏（NPO法人 日本トイレ研究所代表理事）【佐久市共催】
 「ゼロから学ぶ洗濯講座」 中村 祐一氏（洗濯家）【南箕輪村共催】
 「不機嫌という名の暴力」高山 直子氏（公認心理師）【長野市共催】
 「アンコンシャスバイアスに気づくことで誰もが自分らしく生きられる社会を」
 坂爪 美奈子氏（(一社)アンコンシャスバイアス研究所）【諏訪市共催】

○実施方法等

- 以下のように、1 講座で複数の手法、多様な手法を用いることで、どこでも誰でも参加が可能とした。
 ・オンライン実施：4 回（すべてパブリックビューイングと後日配信を実施）
 ・対面実施：5 回（うち3 回で後日配信を実施）



セミナー



意見交換会

チラシ
(抜粋)

令和7年 基調講演
6月28日（土）13:30～15:30
 「地域でジェンダー平等を
 実現していくには」

身の回りにおけるジェンダー格差を見直し、
 誰もが住みやすい地域を考えてみませんか？

講師 **浜田 敬子さん**
 ジャーナリスト / 前Business Insider
 Japan統括編集長 / AERA元編集長

1989年朝日新聞入社。2014年からAERA編集長。2017年朝日新聞社を退社後、世界12カ国で展開する経済オンラインメディア「Business Insider」の日本版を統括編集長として立ち上げる。2020年からは朝日新聞、フィレンツェのジャーナリスト。2022年8月に一般社団法人デジタル・ジャーナリスト育成機構を設立。2022年度ソーシヤルジャーナリスト大賞受賞。2023年10月からフリーランスライターとして活動中。

人生100年時代の 男女共同参画

少子化が進む日本、進まない男女共同参画... その理由を知りたくありませんか？
 パラサイト・シングルなどの流行語を生み出した家族社会学者・山田昌弘氏が、現代社会のリアルを鋭く読み解きます。



講師：山田昌弘さん

2025

9/27(土)
13:30～15:30

受付：13:15～

講師 **山田 昌弘さん**
 中央大学文学部教授

東京大学文学部卒業。同大学院社会学研究科博士課程単位取得退学。専門は家族社会学。日本家族社会学会会長。家族や「役割」を切り口として、親子・夫婦・恋人などの家族における人間関係を社会学的に読み解く試みを行っている。近年は、少子化、結婚、離婚、親族と消費の関係をめぐって発信している。著書『おんな参画』、おもな著書に『パラサイト・シングル時代』（ちくま新書）、『結婚不参画社会』（ちくま新書）、『少子化日本』（岩波新書）、『結婚不参画社会』（朝日新書）、『日本で少子化対策はなぜ失敗したのか』（元文社新書）など多数。